



輪中の成り立ちを伝える資料に見入る来場者 = ハートピア安八（同町水取）

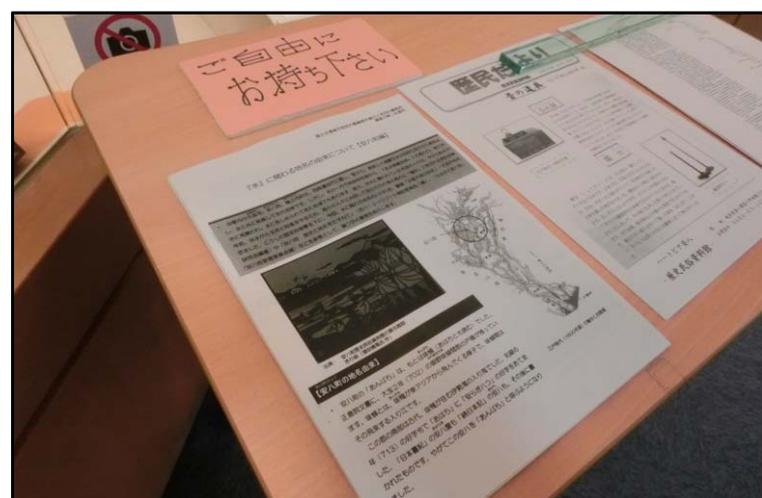
『輪中の成り立ち学ぶ』

安八町が古地図や模型展示で企画展を開催！

安八町のハートピア安八で、企画展「輪中展～安八と輪中～」が開かれており、揖斐川第二出張所は見識を深めるため、10月12日（日）に現地を訪れました。

同町が甚大な被害を受けた昭和51（1976）年9月12日水害から40年経過し、先人が苦勞して作り上げた輪中について、あらためて考えてもらおうと同町が企画し開催したものです。会場には、江戸時代に築かれた「牧、森部、結、中村、大明神、中須、北今ヶ淵」の七つの輪中の成り立ちや特徴を伝える資料のほか、自然災害から出来た地名由来の紹介、水害から地域を守る水防工法の模型展示など約50点が紹介されていました。

今回の企画展の開催にあたり、当出張所が執筆した資料「水に関わる地名の由来【安八町編】」を提供をさせていただきます。ハートピア安八の日比弘康主査は「国の協力に感謝する。資料は来場者に好評ですぐに無くなってしまいます。今後、増刷することを考えており、これらの資料を通じて地域の方々に町の歴史文化の認識を深めてもらえれば有り難い」と語ってくれました。



安八町の地名由来や、洪水時に河川堤防で行う水防工法を紹介した展示資料